

# 理学療法週間事業報告

## 企画推進部

## SAPPORO SNOW VISIONにて 広告放映の報告



社会局 企画推進部  
部長 小川 真太郎



社会局では、令和4年7月17日(日)に札幌市交通局のSAPPORO SNOW VISIONにて、理学療法の日をアピールする広告を放映しました。SAPPORO SNOW VISIONは、市営地下鉄大通駅にあるデジタルサイネージ媒体の広告で12本の柱に上下2段の画面が南北方向にあり、48画面に一斉に広告が放映されるものです。

7月17日の理学療法の日に合わせて放映を行い、12:00~17:00の時間帯に15秒の映像が計150回繰り返し放映されました。当日は日曜日で天候も悪かったため、地下通路は多くの人通りがあり、たくさんの札幌市民・道民の方にご覧いただけたと思います。

一昨年度より、COVID-19の感染拡大により社会局や支部社会部の道民向け啓発イベントは多くの事業が中止となりました。感染拡大予防のため非接触で行える事業を検討し、今回は新たな事業としてデジタルサイネージ媒体での広告を実施しました。デジタルサイネージは全道各地にありますので、今後の理学療法士についての啓蒙・啓発の広報媒体として活用していけると考えております。

## 道東支部

## 香りゃんせフェスティバルへの出展



道東支部 社会部  
庄司 直生



令和4年7月24日(日)に理学療法週間事業の一環として、北見市で開催された「香りゃんせフェスティバル」に北海道理学療法士会道東支部として参加しました。北見市の香りゃんせ公園で開催されたこのイベントでは、北見のハッカ香り体験コーナーやハーブウェディング等の各種イベントが行われ、その中で道東支部が考案した健康体操「きたみんと体操」をステージで実演しました。

事前に道東地域に配布されているフリーペーパーを利用して理学療法士や理学療法週間活動に関する記事掲載と宣伝を実施した効果もあり、「広告紙をみたよ!」と理学療法士に会いに来てくれる方もおりました。

会場では介護予防や理学療法に関するパンフレットを配布し、きたみんと体操も多くの来場の方と実施することができました。介護予防や健康増進に積極的な方も多く、道東支部では今後も地域の方の健康に貢献できる活動を継続していきたいと考えています。